
らぶ。

nakoso

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

らぶ。

【著者名】

N6681E

【作者名】

nakoso

【あらすじ】

彼は、わたしのじいを好きになつたのだろう。

「ラブ」。

漢字にしたら、「裸舞」。

あたしはただ、裸で舞いたいだけ。
狂つたくらい、裸で舞いたいだけ。
でもそのうちに気付いてしまう。

彼が欲しかったのは「裸婦」なんだと。

あたしが裸で舞つてただけで、彼はとことんラフを求めていた。

彼にとつて、濁点は重いらしい。

あたしには付いている、濁点が重いらしい。

気付いてしまったからには、いつまでも躍つてることなんてできることもなく。

急に恥ずかしくなつたあたしは、いそいそと服を着て、でも大人しくしてただけなのも癪だから、せめてもの反抗で手近なものを投げ付ける。

それでも彼は平氣なもんで、向けられた背中に当たつた濁点は空しく返つて来るだけ。

ころころころころ。

転がつた濁点はあたしの足元にまで転がつて、そのまま動かなくなつた。

今のおたしを例えれば、達筆なタッチで「恋」と書かれたガスボンベを背負つて、左手に導火線、右手にライターを構えた、なんだかよくわからない格好なんだ。

ライターで導火線に着火すれば火は瞬く間にガスボンベに至つて、「恋」の文字が爆発するんだ。

どつかーん！ つて。

何もかもが燃えてしまえば、もう裸で舞うことしかできない。

あたしはただただ、狂つたように踊り続ける。

これぞ「裸舞」。「ラブ」なんだ。

なのに今持っているライターときたら、ガス欠ときたもんだ。
どれだけ火打ち石をこすったところで、一向に火なんて出してや
くれない。

目の前の背中は動かない。

足元から拾い上げた濁点をいじくって、おもむろにその背中に狙
いを付けた。

再び飛べ、濁点！

発射！

ズドーン！

じゅじゅじゅじゅ。

またもや足元に転がってきた濁点。

かわいそうだね、おまえも。

よしこそは、と先程より狙いを研ぎ澄ます。

背中に「恋」のガスボンベを背負うあたしは、この時ばかりはス
ナイパーに化ける。

このまんまじや、じうじう搔いたつて火を出してくれないんだ。出
してくれなきゃ困るんだ。

右目をつむって、左目を凝らす。濁点と背中を結ぶ線を、限りな
く一直線に。

口の中にたまつた唾を飲み込んで。

鼻から息を吸って。

集中力を解き放つ。

……ばかばかしい。

一度は構えた濁点を、胸のポケットに仕舞い込む。次の出番まで、
チヤックまでして厳重に。

ガス欠のライターなんて用はないのさ。

いつでも火の吹けるライターじゃなきや。

いつまでも火を吹き続けられるライターじゃなきゃ、意味がないのさ。

つてーか、火の吹けないライターなんてライターじゃないじゃん。ライターじゃなくて、それはただの……役立たずだ。プラスチックの、役立たずだ。

部屋を後にする間際、わざとらしいくらい大きな音を立ててやつたのに、起きる気配はまったくナシ。

うん、救いようもナシ。

朝の空気は凍つたように張り詰めていて、バスを待つ間はコートに首を引っ込めなきゃならなかつた。

ぱたぱたと足踏みしながら、凍える両手に息を吹きかける。

右手を入れたコートのポケットから、ライターが出てきた。

ガス欠ライター。

よくよく見れば、わずかにガスが残っている 今なら、火が付くかもしない。

まだ、付くのかもしれない。

ちょっと、火打ち石をこすればいいだけだ。
かちっ、と音を立てて、こすればいいだけ。

左手に持った導火線は「恋」と書かれたガスボンベにつながつていて、火を付ければ瞬く間にボンベに着火する。
こすつて、みようか。

ガスが切れたつて、またガスを入れれば火は付くじゃないか。
前のように、また火を付けてくれるじゃないか。
ガスを、また入れれば。

入れれば……

遠くから、バスの音が聞こえた。
意を決してライターを握り込む。
ばかばかしい。

本日2度目の悪態と一緒に右手を振りかぶつた。

高く飛び上がつたライターは曇天に紛れて消えた。

今日の天気は、曇りのち雨。ところが、午後は雷雨でしょう。明日からは晴れ渡り、清々しい青空に恵まれそうです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6681e/>

らぶ。

2010年12月17日02時42分発行